

片瀬のぞみだより(11月号)

日本基督教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
家庭通信2019. No.7

月主題聖句

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』

ローマの信徒への手紙 12章 15節

片瀬教会牧師 柴 適

今年、自然の驚異に悩まされ、不安と恐れの日々が続きました。熊本地震では、今でも仮設住宅での生活を余儀なくされている方々もいられますし、最近、鳥取大地震も起こり、寒さに向かい被災された方々が不安に過ごされています。気象では、低気圧や多くの台風の上陸などで各地に甚大な被害がでました。今も異常気象の影響による野菜の高騰が私達の台所を直撃しています。地球温暖化の影響が地球規模で広がろうとしている今、温暖化に影響を及ぼしている国々や企業が影響をなくす努力を是非して欲しいと願います。大切なお子様が成長して行く過程で、自然の悪影響が及ぼすことがないようにと祈るばかりです。

一方、このような自然の中にも秋がやって来ました。収穫の秋として、美味しい柿やみかんの瑞々しい甘美、10月27日に行った、さつまいも掘り、焼き芋のほくほくした舌鼓に園児達の笑顔がこぼれたことでしょう。夏中、園児達と時には遊び、園庭を歩き回っていた蟻達も、すっかり姿を消して、地中にある何層のマンションに帰り、冬支度を整えて来春を待っています。春夏秋冬がはっきりとしている日本の風土の中で、秋から冬に向かう季節の変化が一層心身共に染みます。今月の主題は『共感』です。『共感』とは、『他人のすることや体験、主張などを全く同じように感じたり、理解すること』とです。今月の聖書は、パウロ(神に求めたの意味)がローマの教会に来ている人々に宛てた手紙の一節です。『喜びや、悲しみや苦しみの中にいる人と同じ思いで、その人の立場と一緒に立つ事、共に喜び共に泣ける人になりなさい。神様も同じ思いで私達と共にいてくださる』との教えです。

10月8日(土)運動会が秋晴れの空の下でと期待していましたが、あいにく雨になり片瀬小学校の体育館で行われました。園児達、ご家族の皆様、卒園された児童達が250人ほど集まり盛大に行われました。どの競技も皆一生懸命に笑顔あり、涙ありの熱気に包まれた印象深いものでした。はと組さんがひよこ組さん、つばめ組さんと手を繋いで入場した時、あるいは出場しないで待機していた時、はと組さんがひよこ組さん、つばめ組さんの世話をし、指定された場所でしっかりと待機していたのには本当に感心しました。

更に感動したのは、卒園された皆様のリレー競争でした。短いコースで、すぐにコーナーになるのに真剣に一生懸命走り、何よりも進んで参加して下さったことでした。『こんなもの嫌だ、出たくない』ではなく、共に喜び共に参加したいとの思いが観客にひしひしと感じ取れました。長い人生の良き思い出の時となったことでしょう。片瀬幼稚園時代に教えられた友達と仲良く共に過ごすこと、みんなが大切な仲間であるとの喜びの笑顔が一層引き立ち、心に感動の鼓動がいつまでも残る時でした。ご参加くださった保護者の皆様、ご家族の皆様、当日の運動会の運営のためにご奉仕、ご協力くださった役員の皆様、雨の中準備に配車して下さった保護者の方、計画から諸準備をして下さった教師の皆様本当にありがとうございました。お子様の成長のために保護者の皆様と共に生きる『共生』の精神を深まり行く秋から冬に向かう日々の中で大切に過ごして参りましょう。